

経営比較分析表（平成28年度決算）

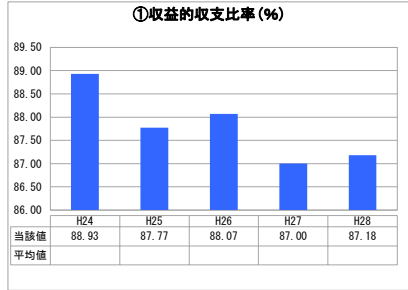
佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.13	96.00	4,104

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,674	195.40	254.22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,953	5.34	1,863.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



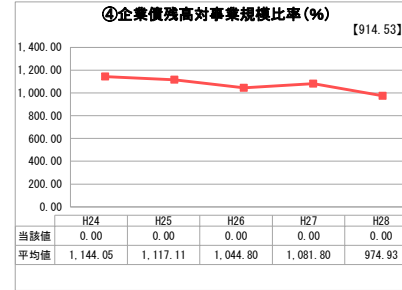
「単年度の収支」



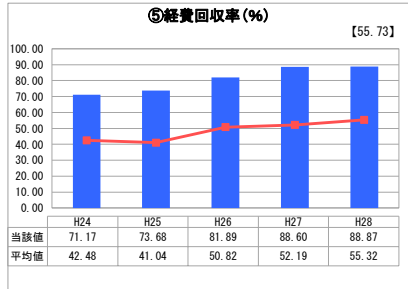
「累積欠損」



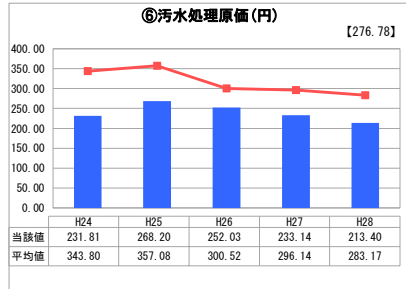
「支払能力」



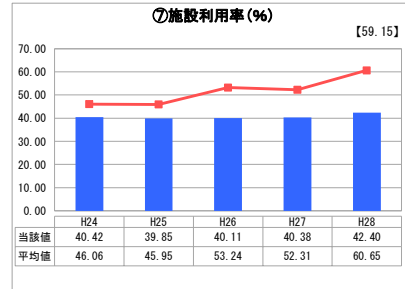
「債務残高」



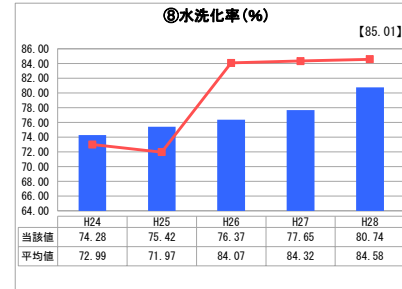
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

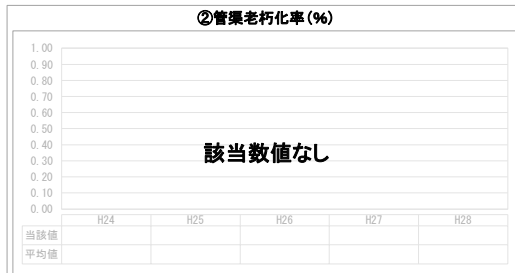


「使用料対象の捕捉」

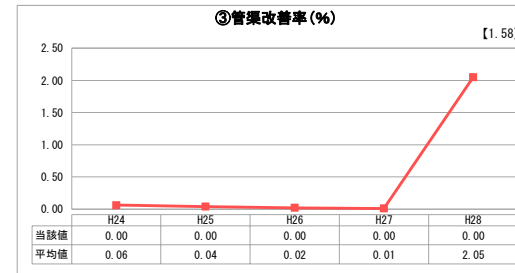
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は平成27年度と比較して微増となっているが、依然企業債利息の支払額の影響下にあり、支払のピークが過ぎれば徐々に増加していくものと予測される。

経費回収率については平成27年度並みと特に変化はなく、類似団体平均値と比較しても高い位置で推移しており、現在のところ適切な料金設定であると言える。

水洗化率は類似団体の平均値よりも低くはあるが80%台まで伸びてきている。施設利用率としては施設能力に未だ余裕があることを示しており、引き続き接続促進に取り組む必要がある。

水洗化率の向上を図ることを前提としながらも、将来的な人口減少に伴う施設規模の適正化についても検討していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当市の農業集落排水の供用開始は平成11年度であり、市内全8箇所すべての処理施設の設置後18年を経過し、老朽化した機器の改修が望まれる状況にある。

維持管理経費の削減（省電力化対策等）の意味合いを含め、平成27年度から処理施設の機器の更新を順次実施しているところである。

全体総括

本市は現在、農業集落排水事業の新規建設事業を行っておらず、今後、供用区域が拡大する予定はない。

そうした中で、収益的収支比率、経費回収率がいずれも100%を下回っている。

水洗化率は8割を超えており、今後は現供用区域内での接続率を高めることを前提としながらも、維持管理費の見直しや施設規模の適正化を図り、健全な経営が継続できるよう努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。